

ま ち の 話 題

豊岡

県立豊岡総合高等学校総合学科

今日はひかり幼稚園を美しく

「地域貢献班」清掃活動

6月25日、県立豊岡総合高等学校総合学科「地域貢献班」の17人が、ひかり幼稚園で清掃活動を行いました。当日は、園児も一緒に草取りに参加し、楽しく交流しながら、園庭をきれいにしました。

同学科の総合的な学習の時間には、種々の講座があり、この日の活動「地域貢献ボランティア」もその一つ。今年は、中央公園・豊岡大橋周辺・大開通りなどの清掃活動を、既に5回行い、まちを美しくしています。

生徒らは、近隣のひかり幼稚園には、今後足運び、運動会前の清掃や冬の除雪など、頼もしい助っ人として活躍します。



▲幼稚園児と触れ合いながら、中庭から清掃スタート

城崎

大谿川木屋町通 ホタルの鑑賞

温泉街にも

幸せを感じるホタルの名所

6月14日ごろから月末にかけて、城崎温泉街を流れる大谿川でホタルの乱舞が見られ、観光客や地元の方々を楽しませました。

地元の城崎温泉大谿川ホタル再生の会が中心となり、主に、まんだら橋から下流約150メートルの間の川掃除や護岸整備など、環境づくりに取り組んだことが実を結び、昨年、約50年ぶりに同場所にホタルが復活しました。川沿いは、灯ろうを段ボールで囲み、明かりを遮って、鑑賞しやすいように工夫されていました。東京から観光で訪れた桜井和子さんは「情緒があり、ホタルをたくさん見ることができて感激した」と話していました。



▲幻想的なホタルの舞に魅了される観光客や地元の方々

竹野

須谷あじさいまつり

雨に洗われつややかに

色づくアジサイに癒されて

7月4日、竹野町須谷の円通寺で「第16回須谷あじさいまつり」(同実行委員会主催)が開催され、約500人の来場者でにぎわいました。

この祭りは、羽柴秀吉の但馬攻めで急速に衰退した同寺の様子を嘆いた沢庵和尚が寺を復興し、その際に薬としてアジサイを植えたのが始まりとされています。その後、住民有志が村おこしの一環で約5,000株を植え、その開花に合わせて18年前から開かれています。当日は、そうめんや赤飯などの軽食販売やもちまきなどが行われました。太田 勲実行委員長は「今後、さらに景観を良くし、来場者を増やしたい」と意気込んでいました。



▲色とりどりのアジサイの中に咲く来場者の傘の花

日高

第5回ジュニアはばタンCUP

気迫あふれる好プレー！

国体選手にも負けないぞ！！

6月19日、日高町水上の日高東中学校グラウンドで第5回ジュニアはばタンCUPを開催し、ソフトボール部を持つ市内3中学校（豊岡北、日高東、日高西）が参加しました。

この大会は、本市が、のじぎく兵庫国体のソフトボール競技の開催地であったことから、同競技の振興と参加校の交流を深めるために、平成18年から毎年開催しているものです。

会場では、選手の元気の掛け声とともに、熱戦が繰り広げられました。参加した早田唯真さん（日高東中3年）は「チームみんなで声を出し合って頑張れた。ソフトボールをする女の子が増えてほしい」と話していました。



▲決してあきらめない。最後まで全力プレーの選手たち

出石

薄紫色の花の香りに誘われて…

ラベンダーまつり



▲雨の中、ラベンダーに見入る来園者たち

7月4日、片間ふれあい農園（出石町片間で、ラベンダーまつりが開催されました。

この農園は、開園期間中、ラベンダーの花摘みやブルーベリーのもぎ取り体験を有料で行っており、まつり当日もラベンダーの花摘みをする方々の姿が見られました。

片間ふれあい農園組合長の中嶋弘幸さんは「春先の低気温で花の咲き具合を心配したが、何とか開催できた。来園者には、ゆつくりと過ごしてもらいたい」と話していました。

「県内第1号のブルーベリー園」：農園内の約700本のブルーベリーと約3千株のラベンダーが心地良く歓迎してくれました。

但東

Toyookaシティパーク

（学校訪問コンサート）

オーボエとピアノの音色がうっとり

6月24日、合橋小学校で、小学校クラシック訪問「Toyookaシティパーク」（市民会館自主事業）を開催し、オーボエ奏者の松本剛さんとピアノ奏者の濱野りささんが、85人の全校児童を前に演奏を行いました。

児童らは、オーボエとピアノを伴奏に校歌を歌ったり、「崖の上のポニョ」の演奏では、手拍子しながら演奏を楽しんでいました。

質問タイムで、「今吹いているオーボエはいつから使っているんですか」の問いに、松本さんは「これは、2〜3年前に買ったもので、プロはだいたい10年ごとに新しいもの買い換えるんだよ」と丁寧に答えていました。



▲オーボエ奏者の演奏を楽しむ児童たち